静岡ちくろうれん

CHIKUROUREN

静岡地区労働組合連合会
〒420-0053
静岡市葵区弥勒2丁目5の26
Tel 054-271-0951
Fax 054-271-0965
（Eメール）
sizu-tikurouren@ny.tokai.or.jp
発行責任者　松川　功

平和への道を歩もう

平和の波宣伝

8月6日（日）
静岡駅北口地下道

8月6日広島に原爆が投下された8時15分黙とう。「青い空を」「原爆を許すまじ」を歌い、「核兵器はいらない、日本政府は核兵器禁止条約に参加を」とそれぞれが思いを描いた横断幕やポスターでアピールしました。

平和をねがう文化のつどい

8月11日～13日アイセル21

8月11日から13日にかけてアイセル21で第7回の静岡・平和をねがう文化のつどいがありました。2、3階ギャラリーでは福島原発事故の布絵をはじめタペストリー、絵手紙、ちぎり絵、習字など参加団体からの展示。13日の集会でも福島の被災者の話、一期一会弾き語り、映像、紙芝居、歌声など施行を凝らしての訴えに実行委員の皆さんの思いが伝わりました。

地元静岡の戦争中の市民体験や静岡空襲のことを聞く機会は殆どありません。戦争の事実を学び伝えることを再度確認したつどいでした。

通りがかった人が立ち止まりわざわざ荷物を置いてカンパをしてくれました。78年前の悲惨な戦争を二度と繰り返してはいけない、声を上げ訴えました。

何年ぶりかな？ 地区労連 夏の交流会 7月22日

昭和28年に戦没者の慰霊と鎮魂、復興の祈りを込めて始まった「安倍川花火大会」は、今年で65回になりました。

事務所の屋上を借りて6年振りに開催。屋上は風もあり涼しく、帰郷した娘夫婦と孫、亡くなった妻の慰霊の花火を上げるという元組合員など、25名が参加してくれました。

持ち寄ったビールと食べ物で交流。ビルの下の人込みを見ながら屋上は最高。久しぶりの花火にプログラムを見ながら、子どもたちと「スターマイン～」の掛け声。上がる花火に歓声を上げ、楽しい夏のひと時を過ごしました。

来年も多くの人の参加を待ってます。

平和の問題 東富士（104訓練）監視活動に参加して

アメリカ軍による、東富士104訓練の監視活動に7月20日（市平和委員会）、21日（建交労）に参加してきました。155ミリ榴弾砲による砲撃の発射音と着弾音の確認。確認はもう一つ。白燐弾です。着弾で確認します。白燐弾は、着弾後に爆発するものと着弾前に爆発して白い粉を振りまくタイプがあります。一日目は合わせて91発、2日目は少なくて11発でした。おまけは軽機訓練（機関銃、機関砲？）合わせて数えきれないくらいの銃弾が発射されました。最後は兵器の移動や銃弾の補充がありました。戦車も登場してキャタピラの10式、最新のタイヤ型の戦車の発射訓練でした。前々から聞いていましたが、発射音がすごく急に近くからの音なので「ドキッ」としました。特にタイヤ型のほうは大砲が大きいのか、心臓に来るかもしれません。私は鈍感なので大丈夫でした。皆さんも機会があったら参加して見てください。

（建交労　望月金一）

平和行進　呉市から広島市を歩いて

ほるぷ労組　森栄司

全印総連の派遣で8月2日～4日、広島市平和公園までを歩きました。一日目の呉市役所前と二日目の坂町役場前の出発式では、通し行進者の村上厚子さん、フィリピンからの環境保護活動家のアルバート・ロサダさん、韓国から来られて日本語を勉強している大学生のイ・ジュンナムさんの挨拶がありました。時間のないところを横紙破りで、僕も挨拶しました。コロナ前の毎年、全印総連はリレーで91日間平和行進に参加したこと、亡くなる国際政治学者として社会革新に尽くされた畑田重夫先生の「平和行進で歩く皆さんは宣伝隊ですので、沿道の人に大いに核兵器廃絶を訴えて下さい」という言葉を伝えました。

三日目の府中原爆慰霊碑前の挨拶では、地元の方が「平和行進は宣伝隊であるとともに組織隊でもあります」と挨拶されました。一人ひとりの核廃絶という思いが新たな大きな組織を作り出すこと、それは国際的な組織にまで発展していくことができるということ。何事も悲観的に考え、達成した事でも否定的に見て「ダメだった」と気落ちする自分にも、この時は明るい希望の光がさしました。

昼前に平和公園に到着し、行進の終結集会が開かれました。原爆の子の像の傍らにあるたくさんの千羽鶴の中に、行進で託された五、六つの千羽鶴を吊るしました。集会終了後の誰もいなくなった平和公園のベンチに座って、空腹感と達成感に浸りました。

「浜岡原発廃炉を求める裁判」県の総会開かれる

次回公判12月11日浜松地裁

敷地内の断層 活断層か否か」が争点

浜岡原発の再稼働問題

中部電力と原子力規制委員会との審査会合で、双方ともH断層系は全て同時期に活動したことを前提に、中電は断層形成が12～13万年以上前（活断層ではない）であることを証明しようとしています。断層上の泥層が12～13万年前の地層とする中電の主張に対し、審査委員会はその立証されていないと反論。その後、中電は原発敷地の1km北を掘り13万年以上前の可能性がある火山灰層を見つけたと規制委員会に報告しました。現在も調査をつづけ、今年12月ごろ規制委員会に説明するとしています。

「浜岡原発廃炉を求める裁判」県の総会が8月26日に御前崎市内で行われ、H断層系の学習をしました。講師の越路南行さんの説明では、中電の調査場所の地層をもとにH断層系の活動性を否定しようと試みましたが、頓挫。越路さんは、H断層系は8万年以前に形成され、中電の主張の12～13万年前よりも新しいと推定しています。

学習会の後、中電の調査場所2箇所を見学に行きましたが、ともに立ち入り禁止となっていました。

原発裁判でも、原子力規制委員会の審査でも大きな争点になっています。原発が活断層の上にあれば動かせず、そのために中部電力は、浜岡原発敷地内を横断するH断層系が活断層ではないと立証しようとしています。

原発層系が活断層で敷地内を横断するH断層か、否かが原発裁判の原子力規制委員会の審査でも大きな争点になっています。原発が活断層の上にあれば動かせず、そのために中部電力は、浜岡原発敷地内を横断するH断層系が活断層ではないと立証しようとしています。

静岡地区労連活動カレンダー

9月9日	（土）	9の日宣伝
9月16日	（土）	静岡県評定期大会
9月19日	（火）	戦争法廃止 オールアクション
9月30日	（土）	県評女性部定期大会
11月9日	（木）	静岡地区労連定期大会
11月19日	（日）	ひまわり集会

替え歌「この素晴らしい憲法をもう一度」

1
戦争しないと誓った日から
世界の平和を求めてきたのに
あの時約束をして
たたかわないと言った日本の
心と心を今はもう忘れたか
この素晴らしい憲法をもう一度
この素晴らしい憲法をもう一度

2
広い世界に平和を広げる
憲法が知らずに
あふれてくるのさ
あの時武力放棄して
戦力持たない日本の
心と心を今はもう忘れたか
この素晴らしい憲法をもう一度
この素晴らしい憲法をもう一度